

SDGsは課題と夢を語る共通言語？ 仕事と暮らしと遊びが一つになるような「協力」を目指して

国立研究開発法人国立国際医療研究センター(NCGM)国際医療協力局連携協力部の藤田雅美先生は、WHOでのHIV対策を中心とした各国の活動を、今年NCGMに入局。現在は、2015年の国連サミットで採択された国際社会共通の目標「SDGs」に関連する仕事等に従事している。WHOでの活動やSDGsとの出会いや思いを語っていただいた。



国際医療協力局
連携協力部・連携推進課長
藤田 雅美 氏

人々と一緒に 問題を解決する公衆衛生

藤田先生は、なぜ医師になろうと思ったのですか。

藤田 私が小学4年生の頃、自分のクラスが防空壕にいて、拳銃で撃たれるような戦争の夢をよく見ました。社会正義のようなものにこだわりのあったのですが、戦争も含めて世の中の問題を白黒分けることに疑問を感じて、よく分からなくなりました。中学2年生の時、途上国で働く医師という仕事なら絶対的に正しいので悩むことはないな、という思い付きが浮かびました。それが医師を意識した最初です。

藤田 先生は、なぜ医師になろうと思ったのですか。

藤田 先生は、なぜ医師になろうと思ったのですか。

藤田 先生は、なぜ医師になろうと思ったのですか。

藤田 先生は、なぜ医師になろうと思ったのですか。

藤田 先生は、なぜ医師になろうと思ったのですか。

藤田 先生は、なぜ医師になろうと思ったのですか。

藤田 先生は、なぜ医師になろうと思ったのですか。

藤田 先生は、なぜ医師になろうと思ったのですか。

藤田 先生は、なぜ医師になろうと思ったのですか。

SDGsは 課題と夢を語る共通言語

藤田 先生は、なぜ医師になろうと思ったのですか。

藤田 先生は、なぜ医師になろうと思ったのですか。

藤田 先生は、なぜ医師になろうと思ったのですか。

藤田 先生は、なぜ医師になろうと思ったのですか。

藤田 先生は、なぜ医師になろうと思ったのですか。

藤田 先生は、なぜ医師になろうと思ったのですか。

藤田 先生は、なぜ医師になろうと思ったのですか。

藤田 先生は、なぜ医師になろうと思ったのですか。

藤田 先生は、なぜ医師になろうと思ったのですか。

藤田 先生は、なぜ医師になろうと思ったのですか。

藤田 先生は、なぜ医師になろうと思ったのですか。

藤田 先生は、なぜ医師になろうと思ったのですか。

SDGsとは

「SDGs(エスディーゼズ)」は、「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」の略称で、2015年9月にニューヨーク国連で開催されたサミットにおいて193の加盟国のリーダーが一堂に会して決めた、国際社会共通の目標のこと。2001年に国連サミットで採択され、2015年に達成期限を迎えた「ミレニアム開発目標(Millennium Development Goals: MDGs)」に替わる、新たな世界の目標として定められた。MDGsでは、特に途上国の窮状を改善することに焦点を当てた8つの目標(ゴール)が掲げられたが、SDGsでは「No one will be left behind = 誰一人取り残さない」というコンセプトのもと、日本など先進国も含めた全ての国の課題も含め、2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットからなる持続可能な開発目標を採択。MDGsから残された課題や、近年顕在化してきた都市・気候変動・格差などの課題の解決を目指す。

(出典：国立国際医療研究センター 国際医療協力局発行「NEWSLETTER」vol.8 2018)